

令和2年度 学校経営計画書

石川県立大聖寺実業高等学校

学 校 長 六反田 雅宏

1 教育目標

真理と正義を愛し、知性をみがき個性の伸長に努め、人間性豊かでたくましい産業人を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 体験的な学習や資格取得指導を通じて達成感や自己存在感を持たせ、生徒の自己肯定感・自己有用感を高める指導を行っている。
- ② 南加賀地区唯一の専門高校として、地元産業界、関係機関の支援や地域社会との連携を深める中で、多様で個性的な生徒の進路を100%確保し、地域のニーズに応えることができている。
- ③ 工業科・商業科・普通科の連携した指導内容・指導方法の見直しに努めている。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 体験的な学習を通して、自ら課題を見つけ主体的に解決する態度を身に付け、将来の産業人としての専門知識・技能の習得を図る。
- ② 基本的な生活習慣の確立と自立心の向上を図り、規律と品位を備えた心豊かでたくましい産業人を育てる。
- ③ 教科学習、特別活動等学校の教育活動全体を通じて、チャレンジ精神を鍛え、奉仕の精神を養う。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 全ての教職員が本校の使命や「目指す生徒像」を共有し、チームとして業務を組織的・効率的に遂行する。
- ② 「多様な生徒」に対して、工業科・商業科及び各教科の専門性を活かしながら、組織的な指導体制を構築する。
- ③ 「できる・期待される」といった有能感・信頼感を醸成する中で、生徒理解のための共通課題を明確化し、学校改革を推進する。
- ④ 地域との積極的な連携により、郷土の文化やふるさとに誇りをもつ心豊かな生徒を育成する。
- ⑤ 教職員が担うべき教育活動に専念できるよう、健康に留意する。

3 今年度の重点目標

- ① 計画的に授業及び生活に係る規律の指導を徹底し、生徒の自己調整力を高めることにより、自立した学習習慣の確立を図る。
- ② 「主体的・対話的で深い学び」の実践をとおして、活用できる知識とスキルを育み、地域に期待される人材を育成する。
- ③ 学校の教育活動全体をとおして、将来の産業人として求められる人間力を磨き、他を思いやる人間性を涵養する。
- ④ 地域の学校に対する理解を深めるため、積極的に本校の教育活動を発信する。
- ⑤ 職員の効率的な働き方と時間外勤務の縮減を推進し、ワーク・ライフ・バランスの改善を目指す。

